

目撃！日本列島さまよう患者を救え～東京初 救急専門病院～



放送日	2016年6月25日(土) 11:30～11:54
放送局	NHK総合

番組概要

[この番組に似ている番組を検索する](#)

オープニング (その他)

11:30～

3年前、東京に初めて出来た救急専門病院を紹介する。この病院は24時間365日患者を受け入れている。

さまよう患者を救え～東京初 救急専門病院～ (バラエティ/情報)

11:31～

足立区の大高病院はどんな病気にも24時間対応している。平日の昼下がり、ケガをした男の子は縫合の必要があったが、訪れた病院では対応している医師がいなかったため、大高病院にやってきた。無事、男の子の傷は縫合された。続いて、病院に連れられた70代の男性は家で突然暴れだすという。診察の結果、認知症の可能性が高いことがわかった。大高さんは薬を処方し、専門医に行くよう勧めた。

NHKオンデマンドで配信。ご案内はdボタンで。

夜間も救急隊員からの受け入れ要請の連絡はひっきりなしにやってくる。この日は足に火傷を負った少女が運ばれてきた。

東京では診療の細分化が進み、夜間や休日では専門が複数にまたがる場合、専門ではないと断られるのが実情である。大高さんは精神科の研修医だったころ、統合失調症の男性に急性硬膜下血腫を疑いがあり、脳外科に診療を依頼したが、精神科の症状があったため断られ、患者は数日後に亡くなったという経験をした。そこで、どんな患者でも診察しようという想いでこの病院が作られた。そんな大高さんの元には精神科の病を患う人たちが多く訪れる。この日も体に不調を訴え食事を食べられない統合失調症の男性が訪れた。薬が原因と見た大高さんは男性を入院させた。1週間後男性は食事を食べられるまでに回復した。

しかし、救急搬送されてもすでに手遅れの場合もある。ある統合失調症の男性は診断の結果、がんの疑いがあった。家族は治療をせず、大高病院に入院させる決断をした。2週間後男性は息を引き取った。

大高さんは回復が難しくても患者を受け入れることがある。この日は心不全を起こした女性が運ばれてきた。大高さんは救命救急センターで一命を取り留めた患者を受け入れ、救命救急センターの

ベッドを確保する協力をしている。大高さんは目の前の患者を診るとともに別の患者を救うという救急医療の形を進めている。

物が食べられず衰弱していた男性は搬送から2週間後、自力で歩けるようになり、退院した。最後に、大高さんは「できることはやりましょう。食わず嫌いはしないってことですかね」と話した。

キーワード [大高病院](#) [NHKオンデマンド](#) [足立区（東京）](#) [認知症](#) [統合失調症](#) [急性硬膜下血腫](#) [がん](#)

[この番組に似ている番組を検索する](#)

キャスト



羽田美智子

[画像検索](#)



大高祐一

[画像検索](#)

スポット

この番組で紹介されたアイテムは登録されていません。

[前回の放送](#)

[次回の放送](#)

- [「目撃！日本列島」をウェブ検索で調べる](#)
- [「目撃！日本列島」をgoo Wikipediaで調べる](#)